

②ミッション型(経済的／社会的価値の実現を目指すプログラム)

プログラムの目標

1) 経済的価値の実現

例. 経済産業省「石炭高度転換コークス製造技術開発」プロジェクト(SCOPE21)

2) 社会的問題解決への貢献

例. JST-RISTEX「犯罪からの子どもの安全」

プログラムとしての活動の水準 = **outputs**

【評価項目・指標の例】

1) 石炭資源の有効利用(非微粘結炭の使用割合増:20%→50%)、高生産性(生産性3倍、設備費低減)、省エネルギー(省エネ20%)、環境(NO_x 30%低減、無煙・無発塵の達成)

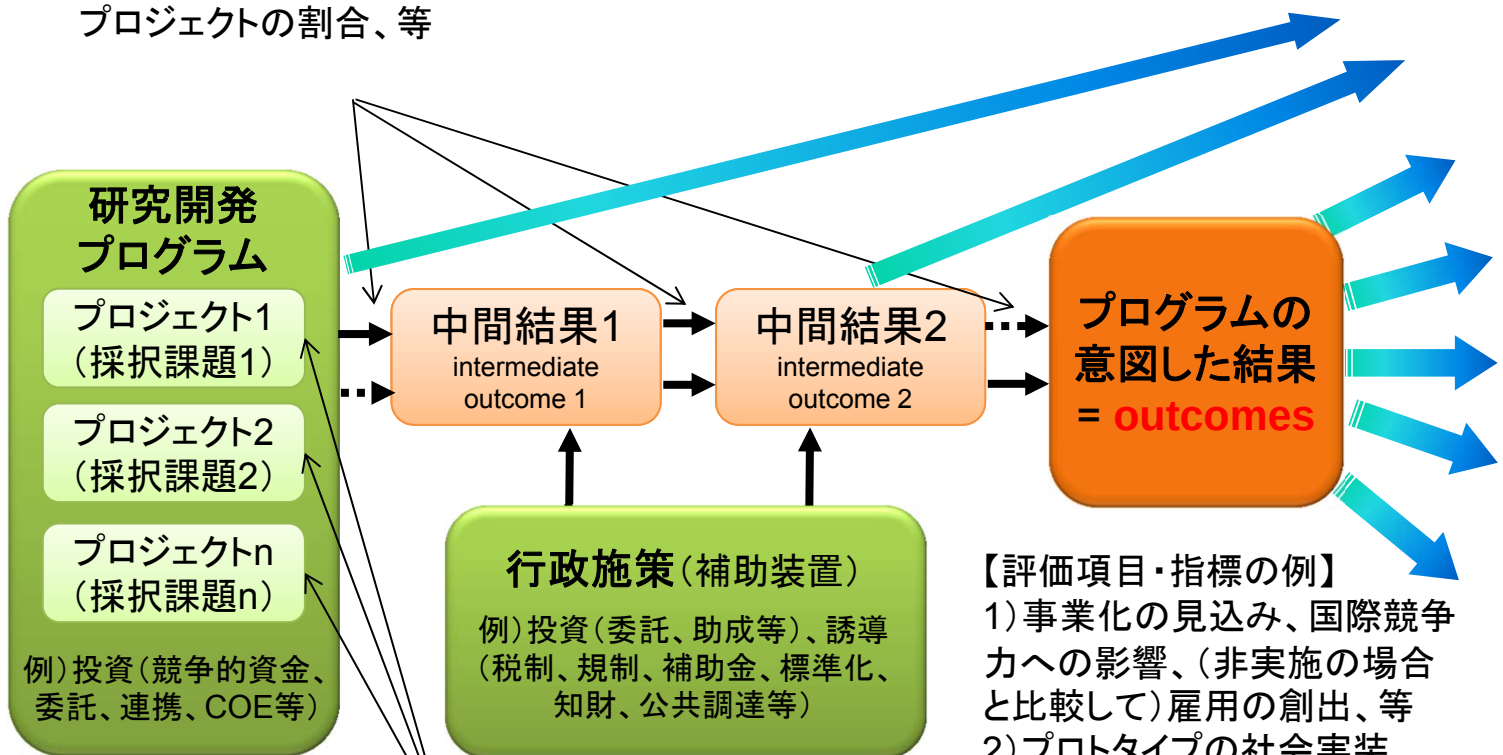
2) 応募者数の推移、第三者による高評価のプロジェクトの割合、等

副次的成果・影響

= **impact**

【評価項目・指標の例】

国際競争力への影響
エネルギー問題解決への寄与
出生率の向上、等



個別プロジェクト(採択課題)の研究開発目標

【評価項目・指標の例】

(アウトプット) →

論文数

開発されたプロトタイプ

特許数

(アウトカム)

論文の被引数

第三者によるプロトタイプの利用

ライセンス収入

【評価項目・指標の例】

1) 事業化の見込み、国際競争力への影響、(非実施の場合と比較して)雇用の創出、等

2) プロトタイプの実装、問題の関与者のネットワークの拡大、科学的根拠に基づく犯罪予防概念の日本での認知度の向上、被害者数の減少、等